

軍縮学会 部会1「軍備管理軍縮と人道性」
報告「日本は何をなすべきか」の要点

2016/4/9
美根慶樹

1. 用語の問題

「核の非人道性」「核兵器の人道的結末に関する共同ステートメント」

2. 「非人道性」を構成する要素

国連の貢献 CCW

無差別的、過度に、

3. 核兵器の非人道性に関する認識は共有されているか

ICJ 勧告

欧州某国大使との論争

米国では「有用であった」ことを重視

4. 非人道性をどのように説明するか

被爆体験と非人道性

核兵器の非人道性

いろんな知恵、工夫がある 散在しているのを集める GE 郊外の展示

長崎の教会の破壊されたものを米国は残したくなかった

5. 「核兵器の人道的影響に関する会議」

専門家のプレゼンテーションと共に事実に基づく議論を行うことを趣旨とする国際会議

多くの関連議論

法的拘束力ある国際約束の形で廃絶されなければならない

核兵器禁止条約の交渉を行うプロセスを開始すべき

違法性の確立

今後の方向性

外務省「次回会議については、南アフリカが今後のフォローアップにおける自らの役割も含めてオプションを検討中と述べた以外、今次会議においてはどの国が主催するかは明確に決定されなかったこともあり、本件会議が今後どのように推移していくか引き続き注視していく必要がある。」

法的アプローチ

経験的アプローチ

6. G7 と広島訪問

日本の指導者は何を語るか 本質を、的確に、国際的感覚で

7. 核セキュリティとの関連

核からの安全がその内容の一つ

NSS のメリット